

■ 開設年度		■ 開講部局	
2022		共通教育	
■ 科目名			
陽明学入門			
■ 英語科目名			
An Introduction to the Teachings of Wang Yang-ming			
■ 前後期	■ 開講区分	■ 科目形態	■ 単位数
後期	毎週	講義	2
■ (2 8 年度以降入学生) 中分類		■ (2 8 年度以降入学生) 小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野(選択科目)	
■ (2 7 年度以前入学生) 中分類		■ (2 7 年度以前入学生) 小分類	
b. 知力：人文・社会科学		9. 歴史・地理を学ぶ	
■ 受講学部学科			
全			
■ 担当教員		■ 担当教員所属	
吉田健一		稲盛アカデミー	
■ 連絡先 (TEL)		■ 連絡先 (MAIL)	
099-285-3753		k5621643@kadai.jp	
■ オフィスアワー (授業時間外の対応)			
随時可 (但し、事前にメールによる連絡をください)			
■ 共同担当教員			
■ アクティブ・ラーニング			
5. 学習の振り返り；			
■ アクティブ・ラーニング (「その他」の内容)			
■ アクティブ・ラーニング (授業回数)			
15回中10回			
■ 理念 重要視する教育目標			
5 . 倫理 1) 社会生活の基盤となる倫理について、考えを述べられる			
■ 理念 教育目標			
6 . 実践 1) 状況に応じた方法で必要な行動ができる			
■ 理念 教育目標			
7 . 他者との協働 1) 自身の責任や立場を理解し、自覚的に行動できる			
■ 理念 教育目標			
1 . 自己理解 1) 自身の関心・能力・価値観を踏まえて行動できる			
■ 授業概要 (目的・内容・方法)			
● 全15回の授業を全て対面形式で実施する。			
『伝習録』に見られる王陽明の言葉により忠実にあたり、陽明学の本質を掴む。儒学の歴史について概観した後、宋の朱熹と陸象山にみる「心」に対する考え方の違いを確認し、王陽明の思想をみて行く。			
今日、「陽明学」と呼ばれる新儒学の思想体系は王陽明の思想を指すが、一番肝心なのは、王陽明が人間の「心」というものをどう捉えていたかである。陽明学はしばしば、「革命の哲学」や「反逆の哲学」、「行動の哲学」という解釈がなされるが、それは正しくない。陽明学は社会思想でもなければ、革命哲学、行動の哲学でもない。ましてや支配者の論理 (帝王学) でもなければ、逆に労働者解放の論理でもない。			
しかし、陽明学が、社会思想、革命哲学、行動の哲学と (日本で) 誤解されてきたことにもそれ相応の理由はあり、心の学 (心学) でありながらも、社会や政治に直接的影響を与えて来たことも確かなことである。そして、その影響の与え方は多岐に渡り、誤解・浅解のどれもがそれなりの理由に基づく。			
本講義ではその理由は何であるかを真剣に考えたい。そして、世間に広まっている「俗流陽明学」と一線を画し、王陽明『伝習録』から直接、陽明学の真髄を共に学びたい。			
■ 学習目標			
1 . 授業の目的は、『伝習録』に見られる王陽明の言葉により忠実にあたり、陽明学の本質を掴むことである。			

今日、「陽明学」と呼ばれる新儒学の思想体系は王陽明の思想を指すが、一番肝心なのは、王陽明が人間の「心」というものをどう捉えていたかである。陽明学はしばしば、「革命の哲学」や「反逆の哲学」、「行動の哲学」という解釈がなされるが、それは正しくない。陽明学は社会思想でもなければ、革命哲学、行動の哲学でもない。ましてや支配者の論理（帝王学）でもなければ、逆に労働者解放の論理でもない。このことを正確に理解すること。

2. 授業の内容は、儒学の歴史について概観した後、宋の朱熹と陸象山にみる「心」に対する考え方の違いを確認し、王陽明の思想をみて行く。まず朱子学について解説し、その後に、王陽明の生涯を解説し、陽明学の主要概念を解説する。その際、朱子学との違いを意識しつつ、儒学全体の中での陽明学の位置づけを解説する。

3. 授業の方法はテキストに従って、解説して行く。随時、フィードバックシートによる受講生の意見も紹介する。

■ 授業計画・試験の有無（16回〔初修語は31回〕に分け、回数、授業内容、自学自習等）

- 1: はじめに - 陽明学とは何か? —講義の狙い—
- 2: 儒学の歴史1
- 3: 儒学の歴史2
- 4: 朱熹と陸象山—心即理と性即理—
- 5: 王陽明の人生・人となり
- 6: 格物(カブツ)
- 7: 良知(リョウチ)
- 8: 良知 - 2
- 9: 心即理(シンソクリ)
- 10: 天理・人欲(テンリ・ジンヨク)
- 11: 知行合一(チウコウイツ)
- 12: 事上磨練(ジジョウマレン)
- 13: 万物一体の仁(バンブツイツタイジン)
- 14: 拔本塞源論(ハツポソクゲンロン)
- 15: 王陽明亡き後の「陽明学」—王龍溪・王心斎・李卓吾—
- 16: 期末レポート

■ 授業外学習(予習・復習)

予習: 配布テキストの次回の講義の部分を一読して講義に臨むこと。

復習: 授業で学んだ内容を振り返り（配布資料を読み返し）、感想を1週間以内にmanabaで提出すること。

■ 受講要件

基礎知識は一切不要であるが、休みなく出席し真剣に受講する意志を有するもの。

■ 成績の評価基準

毎回のフィードバックシートの提出（50%）、期末レポート（50%）。

■ 教科書

受講者には最初にテキストを配布する。
『陽明学入門』（吉田健一・鹿児島学術文化出版・非売品）

■ 参考書

『伝習録』王陽明・溝口雄二訳・中公クラシックス・2005年、『伝習録—「陽明学の真髄」—』吉田公平・タチバナ教養文庫・平成7年、『朱子学と陽明学』島田虔次 岩波新書 1967年、『林良斎—シリーズ陽明学27—』松崎賜・明德出版社・平成11年、『山田方谷—シリーズ陽明学28—』山田琢・明德出版社・平成13年、『東澤瀉—シリーズ陽明学35—』野口善敬・明德出版社・平成6年、『池田草庵—シリーズ陽明学30—』望月高明・明德出版社・平成13年 他

■ 地域志向科目の区分（平成27年度入学生用）

■ 地域志向科目の区分（平成28年度以降入学生用）

■ 実務経験のある教員による実践的授業

■ SDGs

■ その他

コロナの感染状況によっては遠隔講義に移行する可能性もあります。